

『浜の宮中学校校庭より』

春です。今、中学校の校庭にはたくさんの植物が生活しています。

(1) いくつか紹介します、正式な名前を調べてみましょう。

名前はカタカナで答えましょう。

①



上から写した。



横から写した。

名前は？

セイヨウタンポポ

セイヨウタンポポとは外国からやってきたタンポポです。昔から日本にはえているタンポポはカンサイタンポポと言います。どこが違うの？教科書P5を見よう。違い分かった？

②



シロツメクサ

漢字で「白詰草」。どうして、「詰め草」？江戸時代にオランダからガラス製品が船で送られました。その時、ガラスが割れてしまうといけないね。そのため、ガラス製品の周りに、このシロツメクサを詰め込んで割れないようにしたそうですよ。葉っぱは3枚だけれど、4枚の葉っぱも見つかりますね。有名な「4つ葉のクローバー」です。見つけたことある？

③



ツツジ

ツツジは昔から、日本人に愛されてきました。万葉集にも出てくるそうです。江戸時代には、盛んに栽培されて、いろいろ園芸品種がでてきたそうです。(きれいな花を咲かせたい。ということ。)ところで、先生が小さいころ、うまく花びらを抜き取るように、採った後、花の蜜を吸ったことがあります。蜜を吸ったことある人います？甘いけど、少し調べてびっくり。毒があるとか書いてありました。さて、花言葉も調べてみよう！赤色ツツジと白色ツツジで少し違うのですよ。わかった人は教えてください。

④



ホトケノザ

漢字で書くと「仏の座」。葉っぱが仏様の台座のように見えるところから名前がつけられたそうです。この花も蜜が吸えるそうです。また、「春の七草」にも「ほとけのざ」がありますが、これは、実は正式には「コオニタビラコ」という別の植物だそうです。

⑤



ナズナ

白色の花びら（中学校では花弁と呼ぶ）が4まい付きます。別名「ペンペン草」「ペンペン」とは三味線を弾くときの音。花びらの下のほうに、実（中学校では果実）がついているけど、その果実が三味線を弾くときの「バチ」に似ているそうです。正月7日の「七草がゆ」には欠かせない野草です。「春の七草」の一つ。昔は、小さい子のおもちゃとしての利用もありました。

⑥



カタバミ

黄色の花弁が5枚付きます。葉っぱがハート形3枚です。別名「しょっぱ草」とも呼ばれ、食べると酸っぱいそうです。家紋にもよく使われています。繁殖力が大変強いところから、「子孫繁栄」の願いも込められているそうです。花言葉も調べてみよう！

⑦



マツ

別名「松の楽園」とも呼ばれる浜の宮中学校。春には薄いレモン色のような花粉が学校に飛び交います。日本では古くからいろいろなことに利用されてきました。調べてみよう。また、「松竹梅」の一つとして、おめでたい樹ですね。種（中学校では種子と言う）の形が特徴あります。教科書 P24 見よう。

⑧



ソテツ

漢字で「蘇鉄」と書きます。枯れかかったとき、根元に鉄を打ち込むと蘇った。

（よみがえった）ところから「蘇鉄」とついたそうです。10年に一回ぐらいしか花が咲かないそうです。なので、みんなが中学生のときに咲くかどうか？

⑨



タマシダ

⑩



ジャガイモ

(2) ①～⑩の植物の中には、花が咲かない植物があります。どれでしょう？

⑨の タマシダ です。ところで、花が咲く植物は何ができるの？

(3) ①～⑩の植物の中には、外国からやってきた植物があります。どれでしょう？

①、②、⑩ どのあたりから、やってきたのでしょうか？

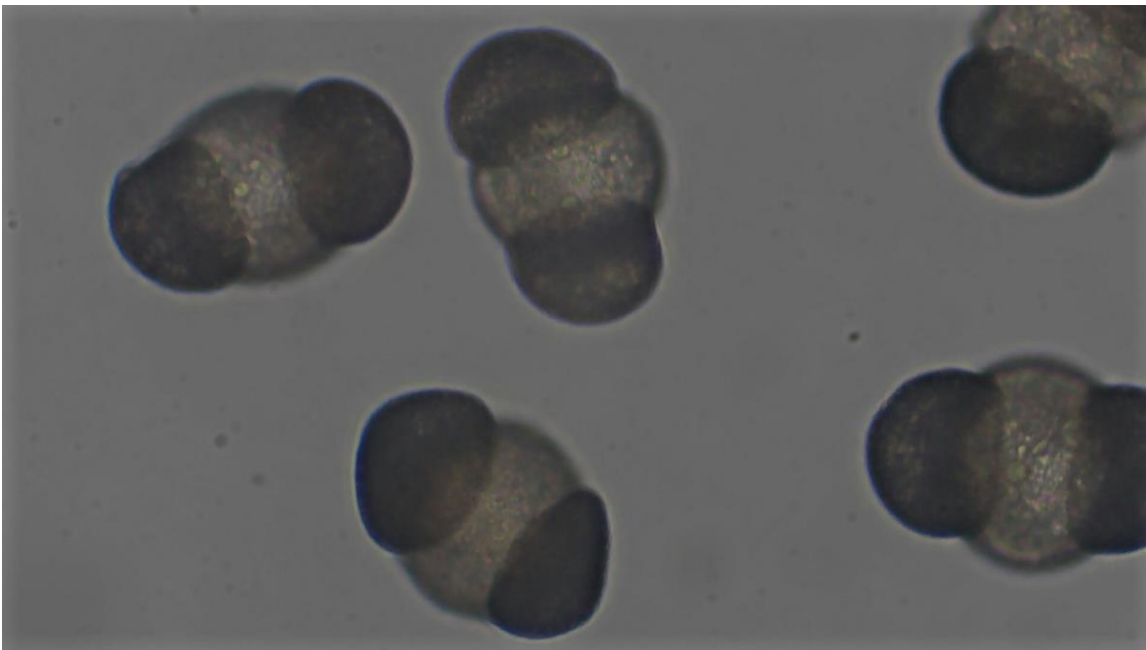
(4) ①～⑩の植物の中には、食べられる植物があります。どれでしょう？

①、(③)、(④)、⑤、⑥、⑦、⑧、⑩

(5) ①～⑩の植物で、興味を持ったものについて、いろいろ調べてみましょう。

(6) さて、下の写真は何でしょう？（ヒント：浜の宮中学校にあります。）

(美濃先生に撮影していただきました。)



答えは、

教科書 P24 にのってるよ。調べてみよう。変わった形ですね。どうして、こんな形なのでしょう？

だと思います。

(7) 最後の質問。クイズです。わかるかな？

さて、みんなの浜の宮中学校には、

何本の松がはえているでしょうか？

答え

かんを働かせてみよう。

もう少し、考えてみよう。

分かった人は、理科の先生に言
いに来てね。待ってるよ。

本です。

(※橘田先生と太垣で、数えました。)